

～防災まちづくり計画の実現に向けて～ 協議会が一丸となって取り組んでいます！

東久保町夢まちづくり協議会では、「防災まちづくり計画」（平成19年策定）の実現に向け、いえ・みち、まち、ぼうさいの4グループに分かれ、テーマに応じた防災まちづくりに取り組んでいます。

大きな被害をもたらした東日本大震災の発生から半年が過ぎました。震災の発生をきっかけに防災に対する意識が高まった方も多いのではないのでしょうか。東久保町夢まちづくり協議会においても震災を契機とした「防災」優先度の見直しを行うなど、より効果的な防災まちづくりを進めていきたいと考えます。お住まいの皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

防災まちづくりの考え方 『予防』防災と『事後』防災

防災まちづくりには、大きく2つの対策が考えられます。

大きな被害が発生することを想定し被害を最小限に抑えるための「『予防』防災」と、災害が発生した後の二次災害の被害を最小限に抑えるための「『事後』防災」が必要であると考えています。

「『予防』防災」としては、安全な道路の拡幅、防災性のある広場の整備など。「『事後』防災」としては、避難経路の確保、初期消火設備の充実など、以下のように想定しています。

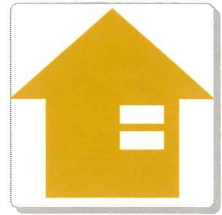
大規模災害は、いつ発生するかわかりません。東久保町夢まちづくり協議会では、「『予防』防災」「『事後』防災」双方をバランスよく計画し、防災まちづくりを実践していきます。



協議会4グループの活動状況

協議会の4つのグループは、ほぼ月に一度のペースで会合を開き、それぞれのテーマに基づく課題について話し合いながら、少しずつまちづくりを進めています。平成23年度の活動状況についてお知らせします。

いえグループ

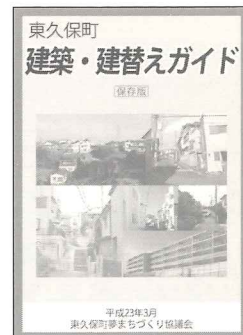


メンバー：15名
リーダー：安田さん（東台会）

○住宅の問題について幅広く取り組んでいます

昨年度は住宅密集市街地における環境改善手法に関する研究の一環として、共同建替え事例見学会を行い、その成果として今年3月に建替え応援パンフレットを作成・配布しました。

今年度は震災を踏まえて、災害・停電に備えたエコ（節電）住宅や家具転倒防止対策やその普及策について検討を重ねています。



建築・建替えガイド

みちグループ



メンバー：14名
リーダー：和田さん（東朋会）

○道路・交差点に関する問題解決に取り組んでいます

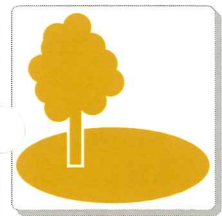
昨年度は坂道の愛称看板設置、9番地のバス通りへ通り抜ける私道を歩きやすくするための整備を行いました。

今年度は交差点の隅切り可能箇所、電柱の民有地への移設の可能性についての検討や、幅員4m未満の道路（2項道路）の後退（セットバック）の推進策の検討を行っています。



私道の整備

まちグループ



メンバー：15名
リーダー：滝沢さん（東朋会）

○広場・防災関連施設の整備・利用方法を検討しています

災害時の一時的な集合場所としての「いっとき避難場所」候補地選定や、防災「準」拠点（池ノ上公園・会館）の利用方法を引き続き検討しています。また、災害時の井戸の活用について、町内の井戸の調査を行い活用方法の検討を行っています。



井戸活用調査のようす

ぼうさいグループ



メンバー：16名
リーダー：菅野さん（東朋会）

○防災まちづくりに関するソフト面を中心に検討しています

各町会の防災組織を基本とした、東久保町の自主防災組織のあり方を検討しています。その一環として災害に役立つ地域の人材掘り起こしのための「防災プロフェッショナル登録」制度の創設の検討、まちグループとも連携し、防災「準」拠点の実際の運用の想定など、具体的な検討を行っています。



グループ会議のようす

災害時の備えについて…アンケートを行いました！

今年3月11日に発生した東日本大震災は各地に大きな被害をもたらしました。また、9月には大型の台風12号により暴風雨や停電の被害があったことなど、東久保町にお住まいの皆さんにとっても防災への対策を見直す機会になったのではないのでしょうか。

今回は協議会に参加している皆さんに防災まちづくりに携わる立場から、災害の「発生時」、「発生後」、その後の「備え」についてアンケートを行いました。主なご意見を紹介します。

●災害発生時、何をされていきましたか？

- 震災発生時（3月11日午後2時46分）は平日の昼下がり自宅にいた方、仕事や外出先の方それぞれの対応となりました。
- また、9月の台風の際は家の中で過ごしていた方がほとんどですが、停電範囲や原因箇所を探して東京電力等に連絡された方もいたようです。
（主な意見）いつでも外に出られるよう窓を開けた／家の前の空き地に避難した
／揺れがおさまってから町内の状況を見て回った／職場で災害対応に当たった 等

●災害発生時に困ったこと、苦勞した点がありますか？

- 震災、9月の台風の際に外出されていた方は帰宅に苦勞されたようです。
（主な意見）会社から歩いて帰った／家まで5時間以上かかった 等
- 9月の台風の際の停電は生活に大きな影響を及ぼしました。
（主な意見）食事の仕度ができない／風呂が沸かせない／オール電化なので困った 等

●災害発生時に役に立ったことはありますか？

- 停電時の対応として懐中電灯やローソクが役に立ったという回答が多く、懐中電灯は明るくて長持ちするLEDのものがよいという意見が目立ちました。
（主な意見）LEDの懐中電灯／登山用品のガスランプやヘッドライト 等
- また、電気を使わないガス釜を使い、隣近所のご飯を炊いたり、料理を持ち寄るなどの助け合いもあったようです。

●災害に備え、日ごろから行っていることはありますか？

- 水、食料、乾電池の備蓄をしているという回答が多くを占めました。
また、自宅の耐震診断をしたという回答もありました。
（主な意見）震災後、今以上に食料を備蓄するようになった／3日分の食料・水は常に用意している 等

●その他・震災以降、災害に対する意識や考え等、変わった点がありますか？

- （主な意見）家族と連絡を取るようになっている／隣近所の安否を確認するようになりすべし／緊急時の連絡方法を決める／近所をもう一度見直す／テレビをよく見るようになった
- 等の回答をいただきました。皆さんの防災に関する意識は一様に高まっていると言えそうです。

今回の震災・台風では皆さんはどのような対応をされたのでしょうか。夢まちづくり協議会作成の「東久保町防災の手引き&防災マップ」等も参考にしながら災害に備えましょう。

夢まちづくりトピックス…1

第7回定期総会が行われました

平成23年5月22日(日)、東久保町夢まちづくり協議会第7回定期総会が開催されました。総会では、4グループで進めてきたこれまでのまちづくりの成果報告、今年度取り組むべき活動内容(左ページ参照)について確認されました。

(参加者47名、委任状16名)



第7回定期総会のようす

夢やさい販売中！

売り上げはまちづくり事業基金として役立てられています

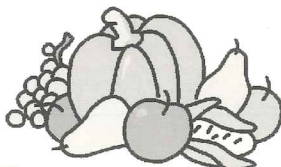
東久保町夢まちづくり協議会では、毎月第3日曜日の午前中、会館・後藤宅前(東睦)・池ノ上公園の3か所でやさい・くだものを販売しています。皆様からの売り上げの利益は地区内の様々な整備に役立てられています。



10月16日販売のようす

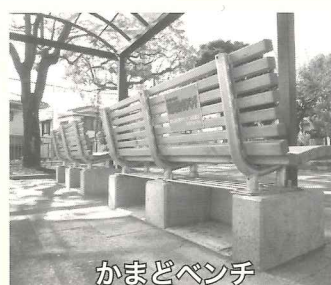
次回の夢やさい販売日程…

12月18日(日)朝8時30分より



これまでの実績

- 会館・公園への雨水タンクの設置
 - 公園に「かまどベンチ」を設置
 - 坂道愛称の表示板の製作・電柱への取り付け
 - バス通りに抜ける私道の整備
- などに使われています！**



かまどベンチ



雨水タンク

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

「ぬくもりトーク」の開催

協議会の取組みについて市長と意見交換を行いました

さる4月12日、会館にて市長をお招きし、意見交換を行う「ぬくもりトーク」を行いました。

「ぬくもりトーク」は、地域で活動している団体・グループの活動場所を市長が直接訪問、または市長が施設等に団体をお招きし、活動に参加したり、活動報告を受けるとともに、意見交換を行う事業です。

当日は協議会から15名が参加し、「未来の夢をはぐくみ、災害に強いまちづくりを目指して」をテーマに意見交換が行われ、活発な議論が交わされました。

※当日の詳しい内容は市ホームページからもご覧になれます。



市長を囲んで意見交換

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/kochosodan/kocho/nukumori/23/0412.html>

問い合わせ先

- 東久保町夢まちづくり協議会
〒220-0062 横浜市西区東久保町8-12 ☎045-241-7150 (会長 和田)
- 横浜市都市整備局都市づくり部地域まちづくり課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1 ☎045-671-2704 (小林、東)
- 横浜市西区役所区政推進課企画調整係
〒220-0051 横浜市西区中央1-5-10 ☎045-320-8328 (勝俣、相馬)

※東久保町防災まちづくり計画の内容については、市ホームページよりご確認ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/chiikimachi/katsuyou/pl-nintei/p08001-plan.pdf>